

庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会 意見のまとめ

1 庄内地区への中高一貫教育校の設置について

子ども達に多様な教育を受ける機会を与えるべき、将来の選択肢を残すことが重要など、設置自体に対しては、概ね賛成とする意見が半数以上であった。

しかし、現段階では設置すべきかどうか判断できる状況ではない、そもそも高校の再編と一緒に考えることではない、人が減るだけでメリットがないとの理由で反対といった意見もあった。

(主な意見)

【設置すべきである】

- ・多様な教育を受ける機会を子ども達に与えなければならない。
- ・高校への進学に際し入試がないため、その時間をうまく活用して将来について考えるといった機会を設けることができる。
- ・スケールメリットを活かして、競争力や順応性を高めるような取組みが計画できる。
- ・可能性や選択肢を残すのは大人の務め。
- ・選択肢を広げるという意味ではつくらないという選択肢はない。
- ・ハード面では問題はあるが、設置自体には賛成である。

【設置すべきでない】

- ・人が減るだけであまりメリットは無い。
- ・現時点での設置には反対。教育に関しては、将来のことをしっかり考えて取り組むべきであり、高校の再編と一緒にするのは順番が違う。
- ・現段階では、設置すべきかどうか判断できる状況ではない。
- ・将来的には検証を踏まえた上で設置すべきであると思うが、今は設置すべきではない。

2 山形県教育委員会の設置案について

周辺の中学校への影響を考えれば、場所を鶴岡とすることはやむをえない、高校再編とは別問題ではあるが、一緒に考えたほうが現実的であるといった山形県案に概ね賛成という意見が出た。

しかし、鶴岡市への設置自体には理解できるが、時期については慎重な対応が必要であるといった時期を課題とする条件付き賛成という意見や、受験競争の低年齢化の懸念などを課題とする条件付き賛成といった意見もあった。

また、通学の問題や、庄内に進学校が一つになってしまうのではないかなどとい

った設置場所への懸念や、高校再編とは分けて考えるべき、もう少し住民の理解を得てからでも遅くないなどといった設置時期への懸念など、鶴岡市への設置や平成36年度の開校については、異論や慎重論が相次いだ。また、中高一貫教育校を選択しない子どもたちへの学びがどうなるのかということが語られていない、中高一貫教育校ありきの計画では、そもそものスタートが違うという意見もあった。

(主な意見)

【山形県案に概ね賛成】

- ・庄内の真ん中につくるというわけにもいかない。高校再編とは別問題とは思いますが、一緒に考えた方が現実的。
- ・現状では、酒田市に中高一貫教育校ができると中学校への影響が大きい。
- ・酒田の方が中学生の数が少ない。周辺の中学校への影響を考えれば場所が鶴岡ということはやむを得ない。

【山形県案に条件付き賛成】

- ・時期については、できる限り早い方がよいが議論をしっかりと行ってからである。
- ・この段階で、真ん中につくるとか、酒田につくるといった議論にはならないが、高校再編と中高一貫教育校の設置は分けて考えたほうが良い。
- ・東桜学館の中学校1期生が高校を卒業する時期になれば一定の検証ができると思うので、平成36年度は早い。
- ・理数科がある新しい中高一貫教育校であり、人材育成といった観点から賛成だが、受験競争の低年齢化につながるのではないか。

【山形県案に反対】

- ・酒田、鶴岡から通いやすい場所を考えるということがあっても良い。
- ・庄内に進学校が一つだった時代に戻ってしまうのではないか。
- ・電車やスクールバスなどのインフラ整備が無ければ難しい。
- ・庄内の人口比を考えると、庄内町が清川方面や遊佐方面、温海方面からの結節点になる。そういった判断もあるのではないか。
- ・通学時間が問題。これだけの時間をかけ通学することが、この年代の子ども達にとって健全な教育につながるのか疑問である。
- ・山形県案では、中学校と高校の校舎が離れており、本当の意味で中高一貫教育校と言えないのではないか。
- ・現在の庄内の人口規模から考えた場合、時期としては尚早である。
- ・先行している東桜学館の事例なども研究してからでも遅くはない。
- ・高校再編と中高一貫教育校設置は別の問題。急がされているという思いが強い。もう少し住民の理解を得てからでも決して遅くはない。

- ・中高一貫教育校を選択しない子どもたちへの学びがどうなるのかということが語られていない。
- ・高校再編と一緒に考えたほうが良いなど中高一貫教育校ありきの計画のようである。そもそものスタートが違う。
- ・様々な疑義が噴出している中、また、平成 36 年度が絶対的期日の決定ではないのであるなら、庄内全体の環境を考えると判断できる状況ではない。